

 **山九株式会社**

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>



株主の皆様へ

第105期 (2013年4月1日～2014年3月31日)



Thank you 便り

धन्यवाद



Obrigado



Salamat



Merci



品質

安全

山九のユニーク
UNIQUE



LOGISTICS

コンプライアンス

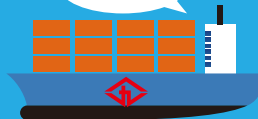
OPERATION
SUPPORT

Thank you



شُكْرًا

Dank u wel



Terima kasih



CẢM ƠN

謝謝



감사합니다



ขอบคุณ ครับ



ありがとう



！ インドネシアに初の物流センターを開設

2月、山九インドネシアは、インドネシアでは山九グループ初となる自社物流センター「山九チカラ物流センター」を開設しました。ジャカルタ中心部から37kmの西ジャワ州ブカシ県の、近年日系企業の進出が続くグリーンランド工業団地内にあり、主要港であるタンジュンプリオク港にも近い好立地に位置しています。同国における自動車部品を中心とした物流ニーズの高まりを受け、3PL事業の拡大を進めます。今後もお客様に貢献できるアジアでのネットワークを強化・拡充してまいります。



チカラ物流センター

！ 八幡製鐵所 戸畑第4高炉改修工事 無事故無災害で完工

4月20日に火入れ式が行われた、新日鐵住金株式会社様の八幡製鐵所戸畑第4高炉の改修工事に山九グループも参加。機工関連の部支店や関係会社の総力を挙げ、ピーク時には1,600人もグループ社員が構内に入り、超短期間の工事を無事達成するべく作業に取り組みました。

これからも高炉改修のプロフェッショナルとして国内外でお客様に貢献してまいります。



八幡製鐵所戸畑第4高炉の改修作業

将来情報に関するご注意

本誌の掲載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測にはリスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

CONTENTS

ニュースフラッシュ P 1
 株主の皆様へ P 2
 よくあるご質問 P 3
 クローズアップ ユニークなビジネスモデル P 5
 アップ 中期経営計画の進捗 P 7
 山九グループトピックス P 8
 連結財務情報 P11
 単体財務情報 P13
 会社情報 P14

「お客様への更なる貢献」ならびに「将来にわたって選ばれる企業であり続ける」ために、引き続き競争力の強化を図るとともに、より一段の企業価値の向上に向けた諸施策を強力に推進してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

山九グループの第105期の経営成績をご報告するとともに、今後の方向性についてご説明申し上げます。

当期の世界経済は、全体として緩やかな回復傾向を辿ってはいるものの、その足取りは依然として脆弱なものとなりました。一方の日本経済は、一般消費財の増税前駆け込み需要や、期末出荷促進による素材系貨物の荷動きが活発化したこと等が、景気を大きく牽引する結果となりました。

このような環境下、山九グループでは、中期経営計画の中核となる「コスト構造改革」、「売上拡大」、「経営構造改革」の3つの重要戦略の中で、物流事業では低稼働資産の集約と倉庫作業の効率化、機工事業では新規SDM領域の戦略的な受注と全体工事効率の向上等を進め、中期経営計画最終年度目標達成に向けたグローバルな布石を打ってまいりました。

しかしながら、当期連結売上高は前期と比べ増収となりましたが、利益面では減益となりました。

2015年3月期につきましては、海外では力強さを増しつつある先進国経済の回復基調を背景



代表取締役社長 中村 公一

に全体として緩やかな成長が、国内ではアベノミクスによる経済対策効果が下支えとなり回復傾向が期待されます。その中において、山九グループは、物流と機工の両面にわたる経営資源を駆使し、海外では、東南アジア・中国を中心とした営業ならびに管理面における組織・体制の更なる強化、国内では、安全と作業品質を確保した中での要員の効率化と流動化を図ってまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

山九グループをより深く理解していただくために 株主の皆様からの よくある質問にお答えいたします。

? 当期の業績について

国内外の経済環境が緩やかに回復する中、山九グループでは引き続き受注拡大とコスト低減に努めてまいりました。その結果、売上高は、4,344億45百万円と前期比8.2%の増収となりましたが、利益面におきましては、営業利益が165億68百万円と7.1%、経常利益は150億94百万円と15.9%、当期純利益は91億53百万円と5.8%のそれぞれ減益となりました。

? セグメントごとの状況について

物流事業は、コンテナ取扱量をはじめとする国内の

荷動き量の増加、消費税増税前の駆け込み需要増に加え、海外での設備輸送作業や、自動車関連部品物流の増加で増収となりました。また、国内での物流量の増加は、これまで着実に実行してきた作業効率化施策との相乗効果を生み、営業利益率は大きく改善いたしました。売上高は、2,342億52百万円と前期比8.9%の増収、営業利益は53億44百万円と50.9%の増益となりました。

機工事業は、昨年の国内震災復旧工事の反動減を新規連結の増加分と海外工事でカバーし、増収となりましたが、全体的に受注競争が厳しく、減益となりました。売上高は1,808億35百万円と8.5%の増収、営業利益は99億67百万円と23.1%の減益となりました。

その他事業では、建設用仮設材の賃貸が減少したこと等から、売上高は193億56百万円と2.8%の減収、営業利益は9億63百万円と9.8%の減益となりました。

? 2015年3月期の見通しについて

国内景気は、消費税増税による一時的な減速はあるものの、アベノミクスによる経済対策、東京五輪開催決定、TPPによる物流の活発化期待等が追い風となり、回復に向けた動きが強まると期待されます。海外景気につきましては、中国経済は緩やかな減速が見込まれますが、米国の企業活動・個人消費の強まりを背景に、世界経済の回復基調は維持され

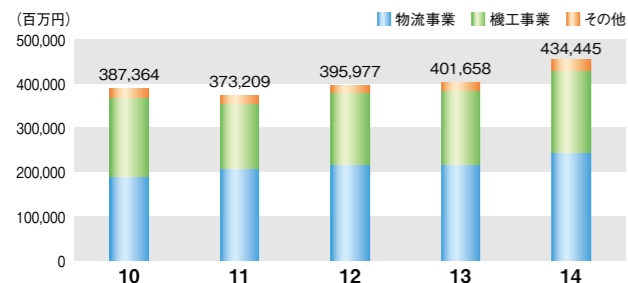
ると見込んでおります。

国内外共に景気回復が期待される中、設備投資を先送りしてきた企業が徐々に動きを再開し、国内における老朽化設備への対応と海外シフトに伴うサプライチェーンのグローバル化は継続すると考えております。

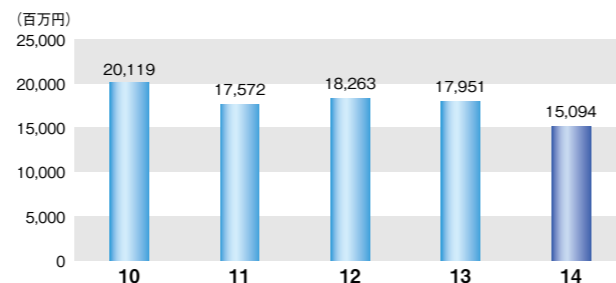
以上のことを踏まえまして、2015年3月期の業績見通しにつきましては、売上高4,500億円、営業利益200億円、経常利益195億円、当期純利益120億円と、中期経営計画最終年として、着実に増収増益を確保する計画としております。

なお、中期経営計画の進捗状況につきましては、7ページをご覧ください。

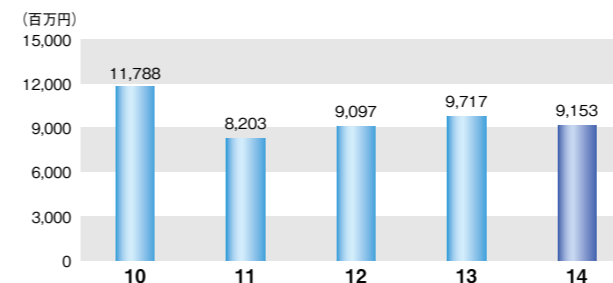
部門別売上高



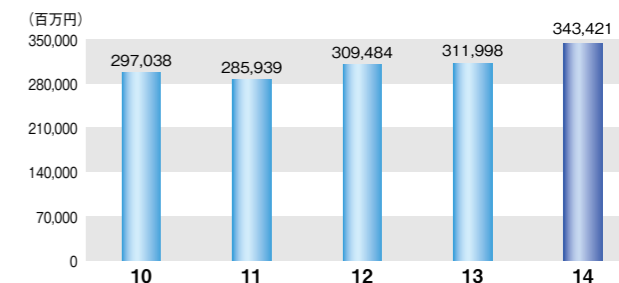
経常利益



当期純利益



総資産



「お客様への更なる貢献」のために

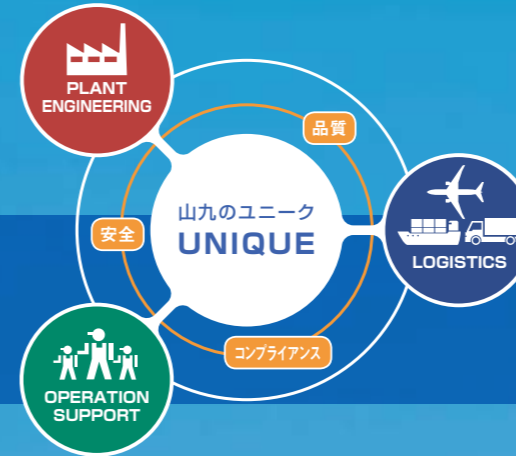
山九グループの総合力から生まれる独自のサービスを世界中のお客様にご提案してまいります

【山九のユニーク】の独自サービスとは

「プラント・エンジニアリング」「ロジスティクス」「オペレーション・サポート」の3事業が連携することでお客様の重要なビジネスをトータルにサポートできる世界にも類を見ないサービスです。

トータルサポートサービス

プラントの企画段階から、設計・建設・重量物輸送・据付・試運転、さらに、お客様の操業支援と設備のメンテナンス、調達・生産・販売までの各種物流にいたるまで、お客様の重要な事業をトータルでサポートできるビジネスモデルです。



サービス事例

三井化学株式会社 様



写真：三井化学株式会社様
岩国大竹工場 (HPより)

三井化学株式会社様が国内外で生産する主要化学品の物流業務をお任せ頂いております。一部工場では工場設備の輸送・据付といったプラント業務から日常メンテナンスといったオペレーションサポートまで協力させて頂いており、山九のユニークが発揮されています。

国内・海外の両方で お客様をトータルにサポートいたします

海外はまさに「山九のユニーク」が最大限に発揮できるステージです。工場の海外進出ではプラント・エンジニアリングが軸となり、操業・保全ではロジスティクス、オペレーション・サポートが強力にバックアップいたします。

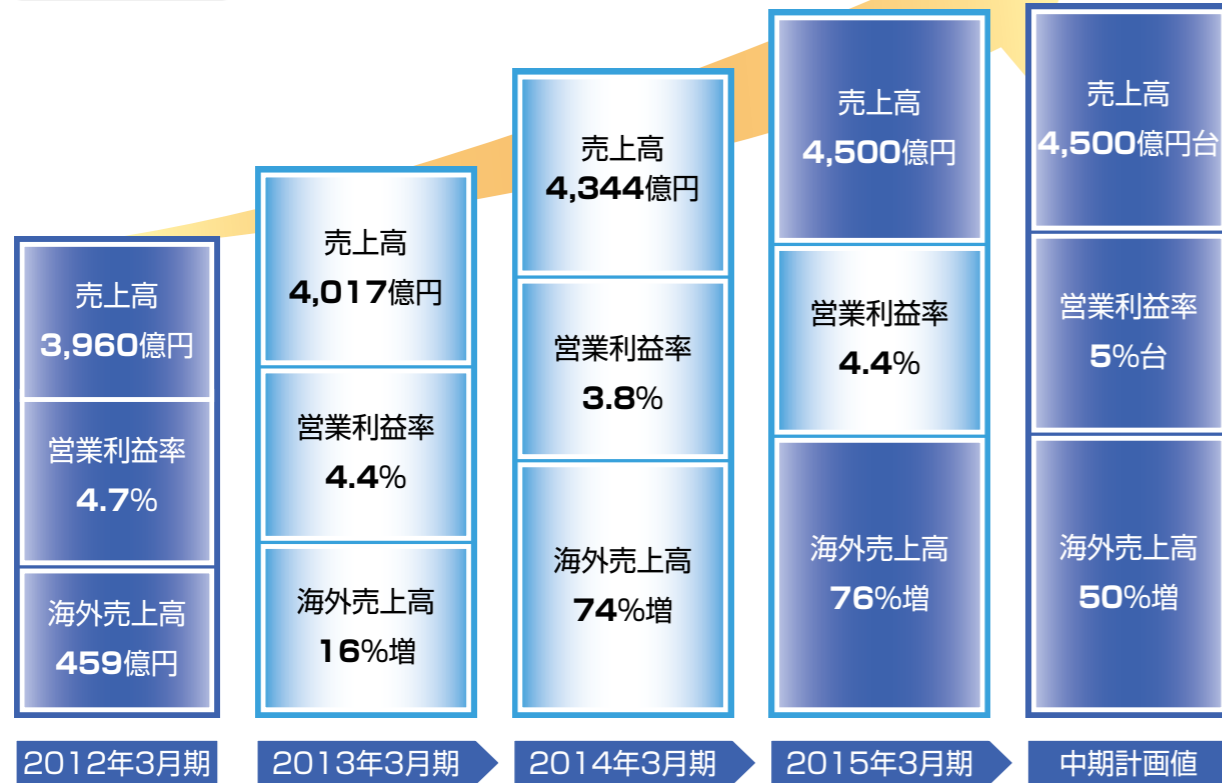
知恵と柔軟な発想で お客様へ最高のサービスを提供いたします

山九グループが保有する多彩な資産と技術・技能を駆使しながら、重要なお客様設備の生産性向上と効率化を実現。さらに、事業領域の拡大、技術力の向上、グローバルネットワークの強化に取り組んでいます。



「将来にわたってお客様から選ばれる企業であり続ける」ために
中期経営計画の進捗状況について

中期経営計画

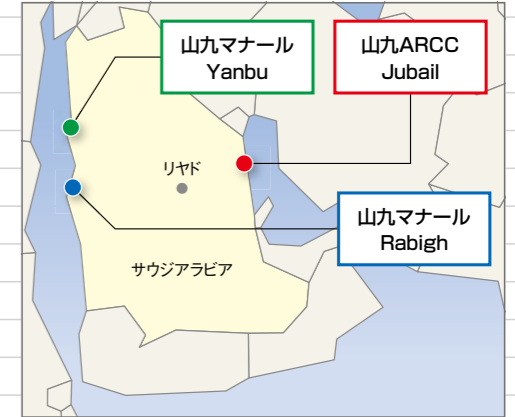


中期経営計画2年目となる2014年3月期は、3つの目標の内「売上高」、「海外売上高」については目標達成する範囲に近づいてきており、数値目標を掲げた事が「ブレイクスルー」に繋がったと考えております。「営業利益率」につきましては、英知と努力で果敢にチャレンジし、引き続き5%台を目指してまいります。

海外事業

サウジアラビアの製油所で大型業務受注
●海外での大型案件の拡大

山九グループは2013年11月、サウジアラビアのYANBU ARAMCO SINOPEC REFINING COMPANY社から、同国のヤンブー製油所の日常保全業務及び、固形物取扱業務を受注しました。ヤンブー製油所は2014年下期に操業を予定している大規模製油所(40万BPD)です。日常保全業務は契約期間5年(2年間の延長オプション付)、固形物取扱業務は8年(同4年間)で、最終的な要員はそれぞれ250名、114名を計画しています。山九グループの持つハイレベルな技術力を武器に海外メンテナンス事業や構内作業の拡大を図ってきましたが、今回の受注により日常保全業務を行うサウジアラビアの製油所は3ヶ所となりました。



海外設備

サイゴン物流センターを建設
●ベトナム南部日系最大の物流センター

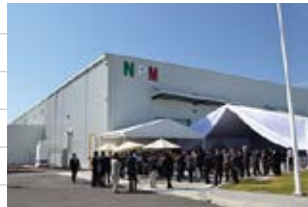


山九グループは、ベトナム南部のドンナイ省に新倉庫を新設します。新倉庫の敷地面積は30,510㎡、2階建てで倉庫面積は20,800㎡、ベトナム南部における日系企業最大の物流センターであり、2014年6月中旬の着工、2015年2月下旬竣工、4月中旬営業開始を予定しています。立地はこれからの発展が期待されるニョンチャックⅢ工業団地に位置しており、2015年開通予定の東西ハイウェイ、今後ベトナムの主要港として計画されているカイメップチーバイ、そして2020年に開港予定のロンタン国際空港に至るまで、優れたアクセスを誇ります。

海外事業 メキシコの自動車用鋼管製造工場完工
●「EPTC」ビジネススタイルでの対応

メキシコへの自動車メーカー進出に伴う、ニッポン・スチール&スミキン・パイプ メキシコ (NPM) 様の自動車用鋼管 (ERW:電縫溶接鋼管) 製造工場建設に関し、山九グループの総力を結集し「EPTC」で対応。工場レイアウト、ユーティリティー計画から参画、設備の設計・製作、輸送を行い、1月には工場の開所式が執り行われました。

これからも「EPTC」ビジネススタイルにより、国内外のお客様に貢献していきます。



※EPTC:ENGINEERING(設計・製作)、PROCUREMENT(調達)、TRANSPORTATION(輸送)、CONSTRUCTION(据付工事)の頭文字をとった略称。海外プロジェクトの設計・製作から輸送・据付けまで全ての工程を有機的にサポートする一貫責任施工体制のこと。

NPM自動車鋼管製造工場

CSR タイでの社会貢献事業
●グローバルな地域社会への取組み

山九グループは毎年1月、タイのこどもの日にあわせ、近隣の寺院内にある孤児院へ会社と従業員から募った募金を寄付しています。また、当日は子ども達と昼食をともにするなどして懇親を深め、最後にプレゼントを提供しています。グローバルに事業を展開する企業として、日本国内のみならず様々な国や地域で、今後も社会貢献活動の取組みを続けていきます。



内のみならず様々な国や地域で、今後も社会貢献活動の取組みを続けていきます。



名称 平和島ロジスティクスセンター
所在地 東京都大田区平和島3-3-8
操業開始日 2015年4月予定
敷地面積 12,748㎡(延床面積47,770㎡、地上7階建て、免震構造)
設備 美術品用トランクルーム、電子セキュリティ、自走式ランプウェイなど
アクセス 東京モノレール「流通センター」駅より徒歩1分、平和島ICより車で1分

国内設備 平和島ロジスティクスセンター起工
●最新鋭の都市型ロジスティクス対応倉庫

山九グループは更なる事業拡大のため、1972年より運営してきた平和島流通センターの拡大・新設を計画し、2015年4月の竣工予定で起工しました。ニーズの多様化が見込まれる都市型ロジスティクスに対応する、免震構造、電子セキュリティ機能、安全通路も備えた首都圏の最新鋭倉庫であり、ジャストインタイム物流の拠点となります。都内配送や羽田航空便に適した立地で、首都圏ならば24時間以内での配送が可能であり、輸出入通関、配送など倉庫内での入庫作業や保管だけでなく、倉庫内作業の前後の作業にも対応可能です。

国内設備 大阪夢洲物流用地取得
●物流ネットワークの拡充の取組み

大阪市此花区の夢洲物流用地を取得しました。同地区はコンテナターミナルの背後地で、大規模倉庫建設等に十分な広さが確保されており、また、大阪港の中心に位置し、今後大阪港の物流の中心となることが期待されています。取得用地には、港運事業と物流倉庫事業の一体的運営による、集荷競争力強化を目的とした物流センターを計画しています。今後も山九グループは、様々なお客様のニーズにお応えの出来る物流ネットワークの拡充を続けていきます。



技術 グリーン物流優良事業者表彰で「経済産業大臣表彰」を受賞
●環境によりよい物流サービスのために

山九は2013年12月、経済産業省・国土交通省他の主催による「グリーン物流優良事業者表彰」で、お客様(株式会社クボタ様)を中心に22社の一員として「経済産業大臣表彰」を受賞しました。海上コンテナのトラック輸送において、内陸コンテナターミナルを活用し、効率的なコンテナの往復利用を行うことで、物流の効率化とCO₂排出量削減を実現したことが評価されました。今後も山九グループは、環境によりよい物流サービスの提供を目指します。

株主の皆様とのより良いコミュニケーションを図るため、2013年12月に9月30日現在の全株主様にアンケートを実施、多くの株主様からご回答をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。頂戴いたしました貴重なご意見は、今後のIR活動に反映させていただきたいと考えております。

技術 平成26年度「山九マイスター」に3名認定
●高度技能習得意欲向上と技能伝承促進

山九マイスター制度は、社内外から一流と評価される水準にまで匠の技を極め、さらに人物的にも他の模範となる技能者に「マイスター」の称号を贈り、社全体の高度技能習得意欲向上と技能伝承促進を図るため2001年より開始した制度です。3月には新たに3名が選出され、現在の山九マイスターは19職種19名となりました。これからも山九グループは人財育成に励み、お客様に貢献していきます。



溝木 秘都史 田才 祐二 石川 広重



連結貸借対照表(要約)

当期：2014年3月31日
前期：2013年3月31日
(単位：百万円)

科目	当期	前期
●資産の部		
流動資産	153,572	138,421
現金及び預金	27,288	23,958
受取手形及び売掛金	111,194	101,520
その他	15,088	12,942
固定資産	189,849	173,577
有形固定資産	134,398	126,633
無形固定資産	15,244	8,462
投資その他の資産	40,207	38,481
① 資産合計	343,421	311,998
●負債の部		
流動負債	125,234	117,956
支払手形及び買掛金	61,139	54,800
短期借入金	37,673	38,121
その他	26,421	25,034
固定負債	85,043	72,181
社債	12,000	—
長期借入金	28,165	27,328
退職給付に係る負債/退職給付引当金	29,062	30,322
その他	15,815	14,530
② 負債合計	210,278	190,137
●純資産の部		
株主資本	125,562	119,504
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	93,748	87,665
自己株式	△ 8,750	△ 8,724
その他の包括利益累計額	4,560	△ 708
少数株主持分	3,020	3,064
③ 純資産合計	133,143	121,860
負債純資産合計	343,421	311,998

(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

当期：2013年4月1日～2014年3月31日
前期：2012年4月1日～2013年3月31日
(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	434,445	401,658
売上原価	402,670	371,180
売上総利益	31,775	30,477
販売費及び一般管理費	15,206	12,645
営業利益	16,568	17,831
営業外収益	1,871	1,819
営業外費用	3,346	1,699
経常利益	15,094	17,951
特別利益	517	—
特別損失	—	1,192
税金等調整前当期純利益	15,611	16,759
法人税等	6,269	6,537
少数株主利益	188	504
当期純利益	9,153	9,717

① 資産合計の増加

新規連結に伴うのれんの増加や設備投資による「有形固定資産」の増加等により、前期末比314億23百万円増加し、3,434億21百万円となりました。

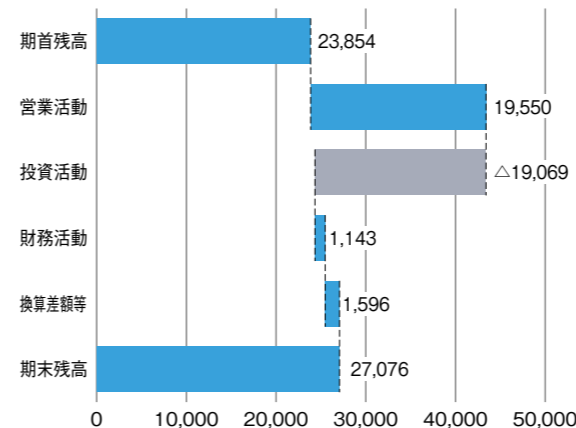
② 負債合計の減少

売上増加に伴う支払手形や買掛金の増加、返済資金調達のための社債を発行したこと等により、前期末比201億41百万円増加し、2,102億78百万円となりました。

③ 純資産の増加

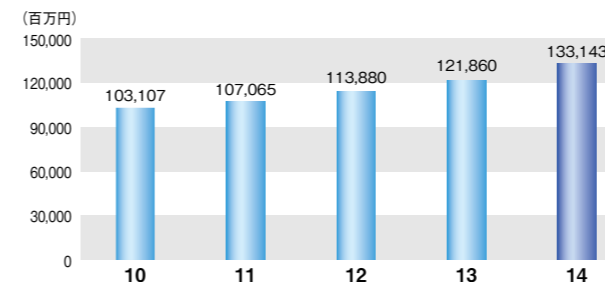
「利益剰余金」、株価上昇に伴う「有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比112億83百万円増加し、1,331億43百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー(要約) (2014年3月期) (単位：百万円)

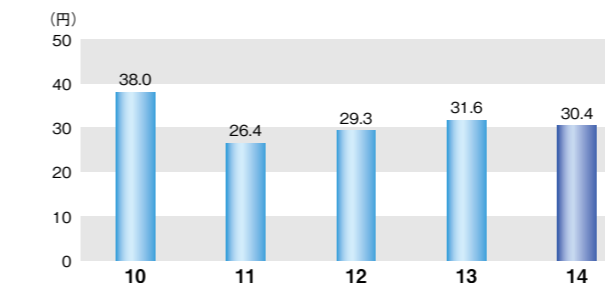


(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

純資産



1株当たり当期純利益

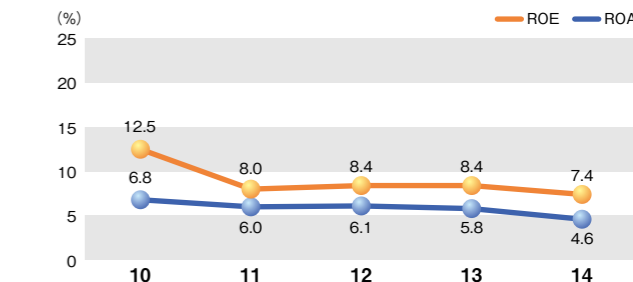


連結株主資本等変動計算書(要約)

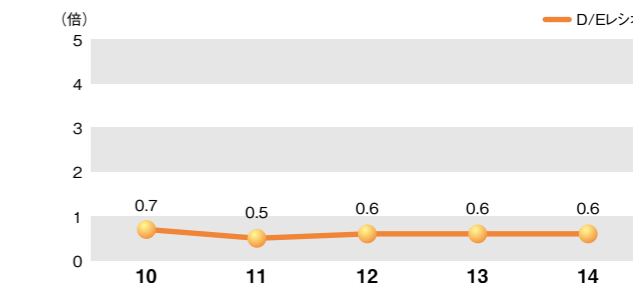
自 2013年4月1日
至 2014年3月31日
(単位：百万円)

	株主資本合計	その他の包括利益累計額合計	少数株主持分	純資産合計
2013年3月31日残高	119,504	△ 708	3,064	121,860
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	△ 2,715			△ 2,715
当期純利益	9,153			9,153
自己株式の取得	△ 25			△ 25
自己株式の処分	0			0
連結範囲の変動	△ 355			△ 355
土地再評価差額金の取崩	0			0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)		5,268	△ 43	5,224
連結会計年度中の変動額合計	6,058	5,268	△ 43	11,283
2014年3月31日残高	125,562	4,560	3,020	133,143

自己資本当期純利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



D/Eレシオ



単体貸借対照表(要約)

当期：2014年3月31日
前期：2013年3月31日
(単位：百万円)

科目	当期	前期
●資産の部		
流動資産	94,931	93,769
現金及び預金	5,125	4,174
受取手形及び売掛金	78,679	79,238
その他	11,126	10,356
固定資産	175,585	161,045
有形固定資産	111,645	108,094
無形固定資産	6,436	6,583
投資その他の資産	57,502	46,367
資産合計	270,516	254,815
●負債の部		
流動負債	106,176	107,067
支払手形及び買掛金	50,629	48,232
短期借入金	40,748	42,810
その他	14,798	16,025
固定負債	75,851	66,073
社債	12,000	—
長期借入金	27,943	26,992
退職給付引当金	24,890	28,020
その他	11,016	11,060
負債合計	182,027	173,141
●純資産の部		
株主資本	83,704	78,823
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	51,825	46,919
自己株式	△ 8,684	△ 8,659
評価・換算差額等	4,784	2,850
純資産合計	88,488	81,673
負債純資産合計	270,516	254,815

(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

単体損益計算書(要約)

当期：2013年4月1日～2014年3月31日
前期：2012年4月1日～2013年3月31日
(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	315,883	316,114
売上原価	295,246	294,197
売上総利益	20,637	21,917
販売費及び一般管理費	9,423	9,341
営業利益	11,213	12,576
営業外収益	2,024	2,297
営業外費用	1,861	1,499
経常利益	11,376	13,373
特別利益	517	—
特別損失	—	1,151
税引前当期純利益	11,893	12,221
法人税等	4,272	4,492
当期純利益	7,621	7,729

1株当たり情報 (単体)

科目	当期	前期
当期純利益	25円26銭	25円11銭
配当金	9円	9円
純資産	293円30銭	270円65銭

コーポレートデータ

会社名 山九株式会社
住所 〒104-0054 東京都中央区勝どき六丁目5番23号
資本金 28,619百万円
事業所 国内支店39、海外駐在員事務所1
関係会社 国内51、海外現地法人39
従業員数 10,785名
お問合せ先 総務・CSR部 Tel.(03)3536-3939
IRホームページ <http://www.sankyu.co.jp/ir/>

● IR関連のより詳しい情報については当社IRサイトをご覧ください。

役員 (2014年6月27日現在)

代表取締役社長	中村 公一
代表取締役副社長	平栗 直樹
代表取締役専務取締役(管理・安全・環境統括)	吾郷 康人
代表取締役専務取締役(事業・エリア管理兼エリア統括)	中村 公大
取締役兼常務執行役員(技術・開発本部長 CTO)	藤田 泰
取締役兼常務執行役員(財務担当 CFO)	中里 康男
取締役兼常務執行役員(ビジネス・ソリューション事業本部長)	池上 僚一
取締役兼常務執行役員(プラント・エンジニアリング事業本部長)	美好 秀樹
取締役兼常務執行役員(人事・労政担当)	細井 研二
取締役兼常務執行役員(ロジスティクス・ソリューション事業本部長)	米子 哲朗
取締役兼常務執行役員(経営企画担当)	小川 隆
社外取締役	岡橋 輝和
常勤監査役	野田 秀臣
常勤監査役	島田 正彦
常勤監査役(社外監査役)	武田敬一郎
社外監査役(弁護士)	小川 憲久

山九グループ概要

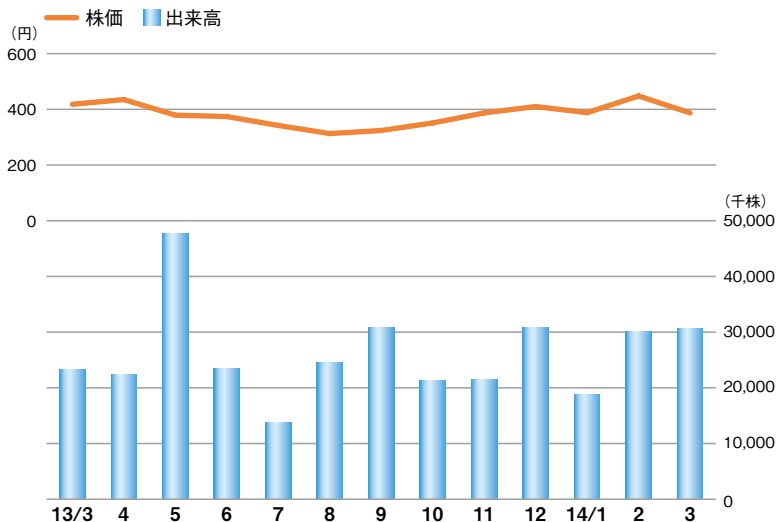
主な国内山九グループ	主な海外山九グループ
<ul style="list-style-type: none"> ● 機工グループ 山九プラントテクノ 平和テクノス 中央テクノ 日本工業検査 山九重機工 山九設計サービス ● 物流グループ サンキュウショッピング 山九海陸 山協港運 中部海運 スリーエス・サンキュウ サンキュウトランスポートグループ(6社) サンネット物流 JPサンキュウグローバルロジスティクス 広菱倉庫運輸 協和海運 	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスグループ インフォセンス サンキュウビジネスサービス 山九東日本サービス 山九中部サービス 山九近畿サービス 中国ビジネスサービス 大分ビジネスサービス 山九ロードエンジニアリング 山九保険サービス サンキュウリサーチアンドクリエイト サンキュウ・ウィズ 防府ポートビル 沖永開発
<ul style="list-style-type: none"> ● 東アジア 山九東源国際(香港) 大連山九国際物流(大連) 上海経貿山九儲運(上海) 広州山九物流(広州) 青島山九亜太物流(青島) 江蘇山九物流(南京) 北京山九物流(北京) 上海山九設備安装工程(上海) 太栄山九国際物流(韓国) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東南アジア・中東 山九東南アジアホールディングス 山九インドネシア 山九シンガポール 山九マレーシア 山九タイ 山九レムチャパン(タイ) タイバージコンテナサービス(タイ) 山九ロジスティクスベトナム 山九ベトナム 山九マナールサウジアラビア 山九ARCC(サウジアラビア) 山九インド ● 米欧州 山九ユー・エス・エー 山九ヨーロッパ(オランダ) 山九ブラジル 山九ロジスティクスブラジル

株式データ (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	326,078,030株
株主数	16,310名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,006	7.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,123	5.25
新日鐵住金株式会社	10,080	3.09
財団法人ニビキ育英会	9,800	3.00
株式会社みずほ銀行	8,310	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	8,012	2.45
ジュニパー	7,045	2.16
山九従業員持株会	6,988	2.14
明治安田生命保険相互会社	6,000	1.84
東京海上日動火災保険株式会社	5,251	1.61
合計	103,616	31.77

株価・出来高の推移



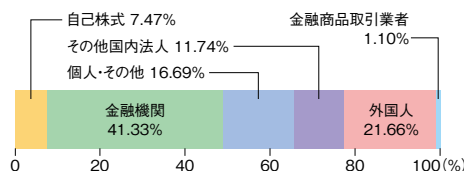
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	毎年6月
定時株主総会	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座 口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
同連絡先	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sankyu.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有株式数別構成比率



1株当たり配当金 / 配当性向



山九株式会社

証券コード: 9065

<http://www.sankyu.co.jp>

